



まちこうば
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

今やフィギュア・ドール界の スタンダード!

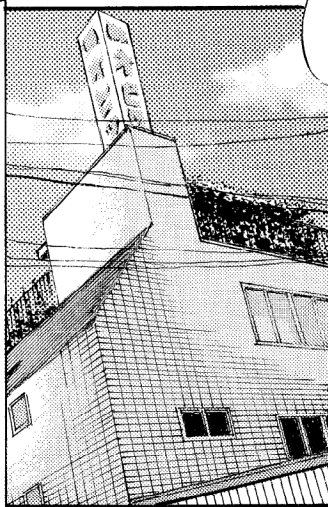
～オビツ・ボディ～

株式会社オビツ製作所

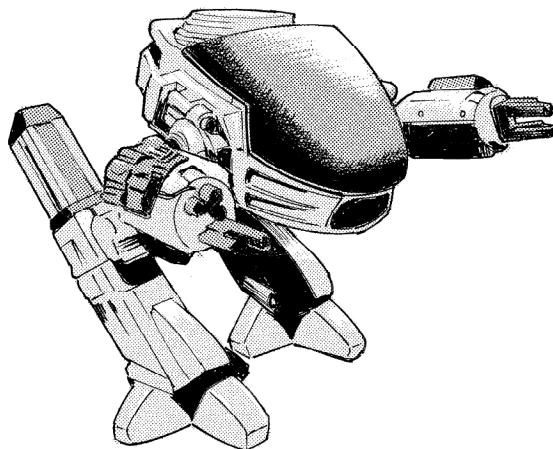
作・桂田健治

フィギュア業界では
その名を知らない者はいない
玩具メーカー

その知名度は国内だけでなく
中国やEU・米国まで広がっており
中小企業でありながら
ワールドワイドなメーカーである



平成元年
日本ホビーショー



ザ
ワ
ザ
ワ

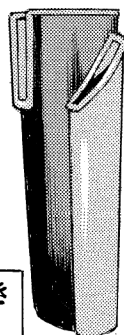
ザ
ワ
ザ
ワ

製造価格は
こんなに安いのか
信じられない!



パーティングラインが
(継ぎ目の線)
ない!
どうしてこんなことが
できるんだ!

オビツ製作所は
スラッシュ成形でフィギュア以外にも
様々なものを作っている



ビルの窓ふき
道具入れ



精巧な
医療模型

スラッシュ成形の可能性を
改めて知ったね



有名模型会社の社員が
驚いて帰っていくんだよ

お
びつ
尾櫃三郎社長

オビツ・ボディ

関節が自由に曲がり
その状態のまま
保持できる

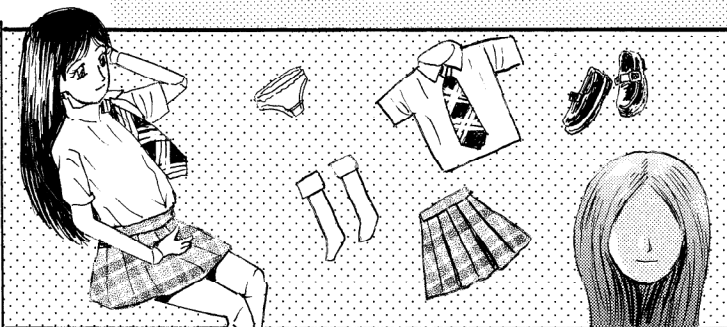
足裏のマグネットで
自立させることが
できるなど



既存類似品を
凌駕する
さまざまな
特徴を有する
製品と
なっている

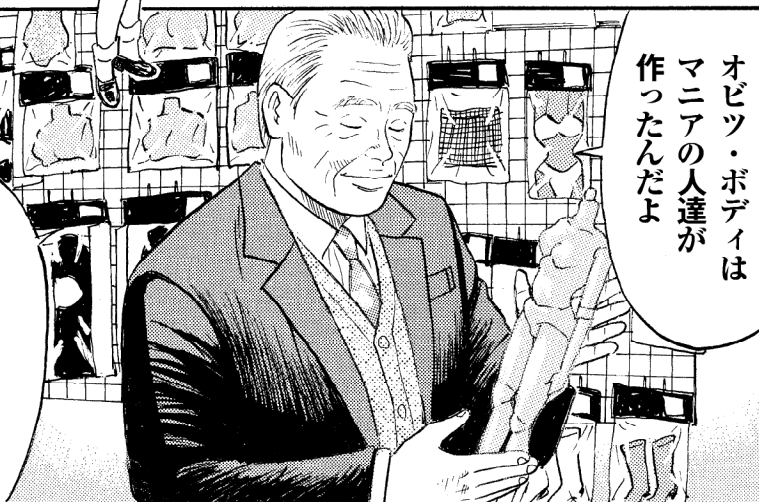
顧客は
別売りの頭や
衣装などを着せ

自由にポーズを
とらせて
楽しむことができる



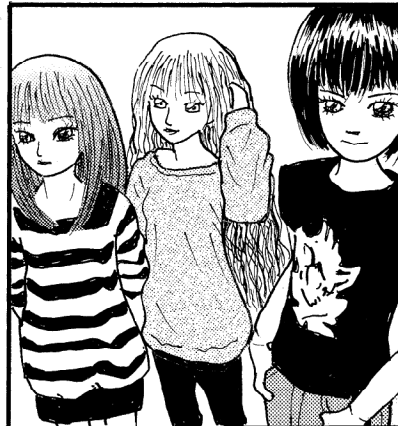
オビツ・ボディは
マニアの人達が
作ったんだよ

わたしのアイデアを
付け加えた
部分も多いが
私には何が
ヒットするかなんて
わからなかったからね

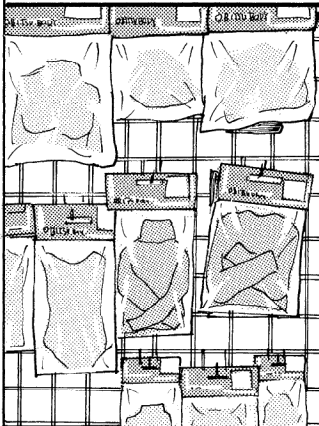




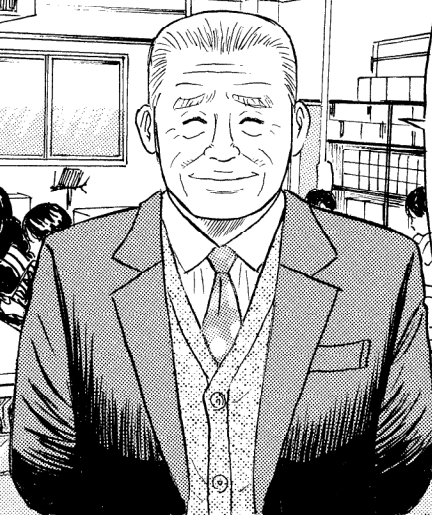
オビツ製作所には
以前からいわゆる
マニアたちが出入りしていた



社長は彼らと話したり
相談に乗ったりする中で
生まれたアイデアを元に
次々と
ヒット商品を作り出した



彼らの中には
今や有名会社の
副社長になったのもいる



正直私には
マニアのことは
よく理解できない部分も
あるけどね

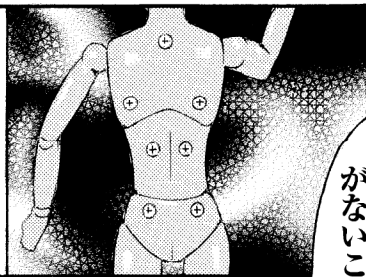


スラッシュ成形の特長は
金型の値段が
各段に安いことと

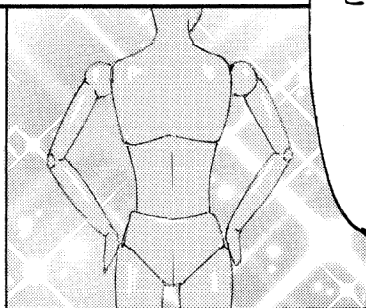


パーティーングラインが
(金型の継ぎ目に表れる線)
がないこと

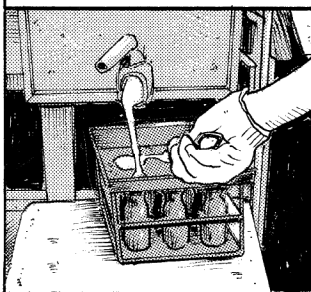
従来の
既存製品



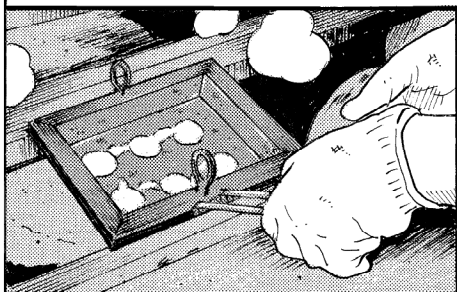
オビツ・ボディ



スラッシュ成形は

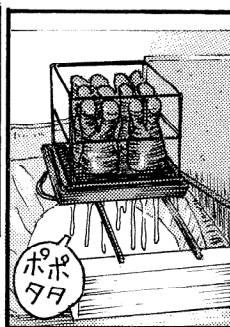


金型に原料を注入
釜に入れて焼く



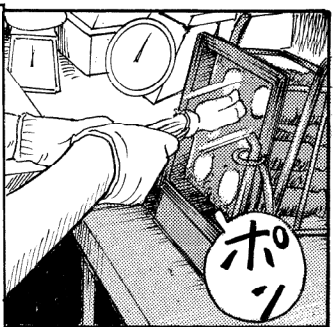
金型の内側に
原料が焼けて固まる

金型を逆さにし
不要な原料を除去



再び焼く

水に付け
冷やし



ペンチ状の道具で
引っ張り出す

釜の温度の加減
焼きの時間などに
よって
肉厚が
変わったりする



まさに
職人の勘が
ものをいう
作業なんだよ

スラッシュ成形はかつて
葛飾の地場産業だったが
今ではほんとに
少なくなってしまった



この葛飾の地に
なんとか
スラッシュ成形を
残したいという想いで
がんばっている



スラッシュ成形に対する
熱い想いと



全く世代の違う
マニア達と付き合い

そのアイデアを
自分の技術と融合させて
ヒット商品にする



尾櫃社長の
この懐の深さがあるかぎり

オビツ製作所の
快進撃は続く

